



わどまり 議会だより



発行 平成22年11月25日 鹿児島県和泊町議会
編集 議会報編集委員会 〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地 TEL 0997-92-2569 FAX 0997-92-3176
ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>



第14代 和泊町子ども議会議長 関口幸一

第109号

主な内容

| | |
|------------|-------|
| 議長中間挨拶 | 2 |
| 一般質問 | 3~5 |
| 可決された議案事項 | 6~7 |
| 会計決算認定 | 8 |
| 監査報告 | 9~10 |
| 所管事務調査報告 | 11~12 |
| 新常任委員会構成 | 13 |
| 子ども議会・編集後記 | 14 |

町の人口

平成22年11月1日現在

| | |
|-----|--------|
| 男性 | 3,527人 |
| 女性 | 3,689人 |
| 合計 | 7,216人 |
| 世帯数 | 3,199戸 |

任期の上半期を終え、平成22年度第3回定例会において前田議長が異例の挨拶を行いましたので以下に掲載します。

第3回和泊町議会定例会全員協議会中間挨拶

和泊町議会議長 前田 力

委員会条例により常任委員会等、委員会が新しく構成されるにあたり、「住民と歩む議会、議員同士が討議する議会、執行機関と切磋琢磨する議会」を目指し、分権改革、地域主権、財政難時代に即応した議会改革の推進を議員各位及び議会事務局にご理解いただきたくと共にお願いをいたします。私自身、躊躇することなく取組んでいきます。各委員会委員の皆様、特に新委員長、新副委員長には、この事についてお願いをいたします。

金子県議会議長の議会改革、栗山町議会の議会改革、夕張市の財政破綻経緯、そして地方分権改革を契機に各市町村で議会改革、議会基本条例が検討され、奄美市においても、今年6月議会で議会基本条例が制定され、市長に反問権を与えております。又、県議会においても9月定例会で制定される予定です。

9月4日の新聞報道で、伊藤鹿児島県知事は二元代表制の堅持と地方公共団体の意思決定機関は首長ではなく、議会にあると指摘（阿久根市の専決処分に関し）しております。この事は議会の議決が如何に重いかという事であります。

和泊町の事業計画は充分検討され議案として出ているのでしょうか。将来を予測した効率のよい議案になっているのでしょうか。議案に対する議会常任委員会の調査は充分でしょうか。最近、事業計画の精度が充分でなく、1つの事業に対し追加補正予算が出る、又、事業計画が確定するまで十分な時間をかけた検討がなされていない議案が間々見受けられます。自主財源の少ない財政の厳しい自治体、特に和泊町においては地方債残高が高い中で、費用対効果や将来的な補修等維持管理費や運営費のチェックは大変大事であり、所管常任委員会は大きな役割と責任を担っています。私達は町民に代わって行政を監視する立場にあります。行政が悪いのは議会が悪いからだと言われます。私達は議会の機能を果たしているのでしょうか。議員は財政に強いことが必修条件だと言われます。その知識がないと質疑しても中身のある充分な答弁を執行部から得ることは難しいことです。さらに、議員定数についても、行財政改革推進委員会で検討するよう指摘されているところであり、議会自ら取組んで行かなければなりません。

以上の事から、

1. 分権改革、地域主権、財政の厳しい時代に即応した議会改革の推進。
2. 議会は合議制の機関であり、本会議における委員会報告と活発な議員間の自由討議、他委員会からの質疑による政策形成能力の強化と政策提案の拡大を図る事。
3. 重要議案については、起立採決し、議員の責任を明確にすること。
4. 議会活動を最優先すると共に、議会活動を団体活動等議員外活動と混同せぬ事。
5. 議員申し合わせ事項について、会期中にプロジェクトを作り検討する事。
6. 議会事務局の業務の確認。
7. 議会書類の整理。(条例、規則などの整理)

について、議会改革の一環として早急に取り組んでいただきますよう、重ねてお願いいたします。

一般質問

町民に代わって行政を問う

平成22年(9月)第3回議会定例会

1 行政拠点の整備について

2 半崎から海岸への道路整備について



山下幸秀議員

質問1 ①本町の役場庁舎は昭和二九年建築された、和泊小学校跡地を利用した改良庁舎であり、老朽化が進んでいる。災害避難時の中枢施設である各施設を整備する計画はないか。

答弁 役場庁舎は建設以来五〇年以上が経過しており、また、各課、各庁舎の配置においても不便であり、事務効率の低下を招いている状況にある。第五次総合振興計画の中で、財政状況を十分把握して基金の増額に努め、建設に向けたプロジェクトチームを発足させ、新庁舎建設に向けた取り組みを進める。同時に、教育委員会や議会議事堂についても一体となった総合庁舎として検討する。

②中央公民館・町立図書館の整備について

答弁 中央公民館は昭和四一年、町立図書館は昭和五五年に建設され、多くの町民に利用されているが、イベント開催時に駐車場の狭小さを痛感している。第

1 平成二二年度産農畜産物の生産実績と今期の振興対策について

2 情報公開について



谷山健一郎議員

質問1 ①各作物別生産実績収と対前年度比はどうか。

答弁 平成二二年度の農畜産物全体の販売額は、野菜においてはバレイシヨの単価が良かったことにより、野菜全体で増額となったが、さとうきびが夏場の干ばつ被害の影響で単収が落ちたこと、花き、畜産については、景気の低迷等による消費の減退で価格が下落したことにより、総額で七二七二万九千円減の五九億四三八五万円となった。さとうきびについては、一、一六%減の八億一七三九万三千円、野菜は、二、一九%増の一四億六〇三五万一千円、花きは、二、一〇%減の二九億五八九五万四千円、畜産は、七、四%減の六億二八一九万八千円となった。



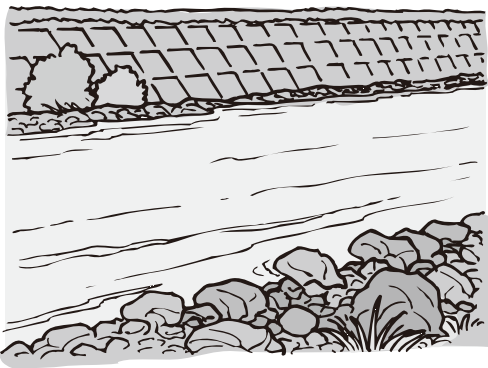
来期9万トンの収穫が見込まれるさとうきび

②製糖期の前進化について

答弁 一昨年、昨年と年内操業が始まったものの、四月下旬の終了となった。製糖期が延びたことにより、株出の管理作業の遅れ、春植の植付の遅れ等に影響し、次年度の減収の要因となっている。このことから、三月末か遅くとも四月初旬に製糖終了することが望ましく、生産見込量に応じて製糖開始を早めることが必要となることから、会社と関係機関一体となって製糖の前進化に取組む。

③口蹄疫の被害額はどうか。

答弁 鹿児島県の被害額は未だ公表されていないが、県の口蹄疫対策としての予算額は、八月末現在で約一八億九千万円となっている。町としても、



一三〇〇万の予算を計上し、口蹄疫の発生により出荷の遅延を受けた子牛に対する育成費の負担軽減に努めてきた。生産者の皆様には今後とも善良な管理に努めていただき、口蹄疫の侵入防止及び二次的被害回避のため、関係機関、生産者一体となって取り組む。

そのある情報等を開示できないものと定めている。
②字区長、民生委員等への情報公開範囲はどうなっているか。

答弁 字区長については、「和泊町字区長に関する規則」第三条に「町長の執行する行政に関する事務を補佐する」と規定されており、又、民生委員は、民生委員法に基づく特別職の地方公務員とされているほか、それぞれ守秘義務が課せられていることから、その活動に必要な情報の提供を行うことは、こうした制限の例外と考える。町としては、関係法令の趣旨、字区長及び民生委員の職務内容を踏まえ、その活動が円滑に行われるよう、必要な情報は提供する。

質問2 ①庁舎内で情報公開の統一基準は作成されているか。

答弁 本町は平成一五年一〇月に和泊町情報公開条例と個人情報保護条例及び関係規則を公布施行している。情報公開の基準としては、条例第五条において、原則として行政文書を開示することとし、その例外として、法令等で開示が禁止されている情報や個人の権利利益を害するお

1 厚生施設火葬場の整備について
2 教育行政について
3 自然環境整備について



永野利則議員

質問1 ①高齢化が進む昨今、施設の利用者が増える中、旧炉・新炉共に故障が危惧されるが、早期の施設整備はできないか。

答弁 建物の現状は、特に旧炉においては増設後三二年が経過

し、火葬炉を含め施設全体の老朽化が進行している。火葬場としての円滑な運営に支障をきたすことも懸念され、本町においては第五次総合振興計画で機能の充実と環境に配慮した火葬場の整備を計画しており、早期整備については、衛生管理組合の総合的な整備計画に基づき、知名町とも協議しながらできるだけ早期に整備できるよう取り組む。

②構内外の駐車場拡張整備はできないか。

答弁 火葬場利用の現状からも、駐車スペースは十分に確保できているものと考えているが、構外の駐車場は未舗装のうえ、不整形で安全面からも利用される方々に大変不便をおかけしている現状にある。
当面は利用者の安全確保を図りながら、旧炉の改修と併せて周辺環境と調和した形で整備できるように、衛生管理組合や知名町とも協議を行い取り組んでいく。



駐車場の拡張を求められた火葬場

質問2 地球温暖化がもたらす自然災害等の恐ろしさを学ばせるためにも、教育現場に早期に太陽光発電導入はできないか。

答弁 鹿児島県においては、生徒に環境問題を身近に感じてもらい狙いで、県立高校四一校に十kwの太陽光発電設備を設置してある。本町も今後の事業実施に向けて、第五次総合振興計画、過疎地域自立促進計画にも掲載し、国の政策も見極めながら、安全安心な学校づくり交付金等を活用して前向きに検討する。

白百合土地改良区の運営と議員定数の削減について



伊集院徳二議員

質問3 畑地帯総合整備事業担い手育成型等、様々な農地整備が図られているが、自然林の減少で地球温暖化に与える影響は少くない。環境に配慮した一人一本運動を推進できないか。

防風、防潮などの環境保護の面から大変貴重であり、関係機関と協力して自然環境保全に努めていく。又、来年度は町制施行七〇周年を迎えることになり、町民の自然環境に対する認識を高めるために、ゆりのふるさと基金等を活用して、町をあげて植栽運動を推進していく。

答弁 一人一本推進については、水資源の確保や地盤の安定化、

③国営改良区に向けた取り組み状況はどうなっているか。

質問 白百合土地改良区の運営について。
①問題点の整理がなされ、どのような改善が図られ、自立した運営の見通しが立っているか。
答弁 改良区の現状と料金改定の必要性を組合員に周知徹底し、更なる水利用の推進とバランスのとれた運営に職員努力しているところである。
答弁 統合整備準備委員会、統合整備推進委員会を設立し、合併時期を平成二四年度とし、それに向けた取り組みを進めている。又、合併をスムーズに行うため、合併担当者を置き具体的な調整を進めている。



頑張れ白百合土地改良区

質問 次年度に向けた事業計画について。

①第五次総合計画がスタートしたが、総合計画に基づいた実施計画やマスタープランの策定はどうなっているか。

答弁 プロジェクトチームを中心に過疎自立促進計画と並行して策定を進めている。尚、マスタープランについては、都市計画事業や住宅整備事業など大きな事業を実施するときに策定しており、来年度は住宅整備事業に関する住生活基本計画を策定する予定である。

②次年度に向けたヒアリングが行われているが、具体的な事業計画はどうなっているか。

答弁 奄振のソフト事業で要望した太陽光発電や給食センター建設、花き選花施設整備については、雇用確保の面等から奄振事業の趣旨と一致せず、又、担当部局事業でそれぞれ実施できることから、奄振事業では認められなかった。従来の事業については、予算の減額等事業の見直しで一部遅れている事業もあるが、概ね計画通り進んでいる。

質問 奄美群島広域事務組合の在り方について。

奄美群島事務組合の出向職員の派遣の在り方についてどう考えているか。

答弁 奄美全体で発信しなければ成し得ない、奄振事業による自立的発展を遂げるための施策などを中心に広域事務組合をうまく活用する方向で職員を派遣したいと考えている。

質問 議員定数の削減について。

区長会や行財政改革推進委員会と議員定数の削減が話題になっているが、どう考えているか。

答弁 平成二十年度の行財政改革推進委員会や同時期で開催した行政懇談会においても、町民から質問があったことから区長会でも話題になったと聞いている。多くの自治体で議員定数の削減が検討されていることから、行財政改革の一環として、今後議会において議論していただきたい。



1 行財政改革について
2 和泊町過疎地域自立促進計画について
3 子育て支援対策について



盛 泰夫議員

質問1 ①本町の財政状況はどうなっているか。

答弁 本町の平成二十一年度決算状況は、財政力指数が〇・一七％、経常収支比率が九二・三％、実質公債比率が一五・五％、将来負担比率が一四七・二％、地方債残高が一〇八億、積立金現在高が一五億となっている。

②自主財源の確保をどう考えているか。

答弁 収納対策課を中心とする未収金の回収に全力をあげ、公共物等への広告掲載、公有財産の売却、ふるさと納税の推進を進めていく。

③外郭団体の負担金の見直しをどう考えているか。

答弁 本年度計画している、「事務事業見直し検討委員会」において、各種団体の事務事業の妥当性や補助金額の適正等について審議していただき、来年度予算編成の参考にしたいと考えている。

いる。

質問2 ①障がい者(児)の入所施設の整備はどうなっているか。

答弁 当面は島外の障害者施設、及び病院等に入所や入院している方々の保護者の見舞いや、島外の専門治療等が必要としている児童等への旅費助成の拡充を図り、知名町とも連携をとりながら施設整備の研究、検討を進める。

②集落の維持活性化に向けた交付金の創設はできないか。

答弁 集落の維持活性化については、集落リーダーの育成対策と空家などの改修による移住定住対策を推進する。又、地域住民が自主的に共生・協働の地域づくりを構築できるよう支援する事業などにも、過疎債の活用を検討しながら地域の活性化を推進する。

質問3 ①子宮頸がんワクチン接種の予防助成はできないか。

答弁 厚生労働省は平成二十三年度予算の特別枠で、子宮頸がん予防対策強化事業として約一五〇億円を計上し、国・県・市町村で負担しあって助成する

仕組みを想定している。島内の各医療機関への聞き取り調査では、子宮頸がんワクチンの接種実績はないが、希望者がいれば接種可能という回答があった。今後県内の状況を見守りながら対処する。

②空家等を活用した子育て交流施設の整備はできないか。

答弁 現在子育て支援センターで実施している交流活動と利用者の現状、既存施設の活用、利用者のニーズの把握、地域の育児力の活用等、総合的に検討する。



落成なったスマイル館「にやーとう」

平成22年 第3回定例会

9月14日から10月1日までの18日間

平成22年度一般会計予算

60億2643万8千円

1億3230万6千円を追加

玉城字に介護予防施設 「スマイル館にやーとう」設置

和泊町防災無線施設着工へ

可決された

議案事項

補正予算

◎平成22年度一般会計補正予算(第4号)

歳入では、前年度剰余金繰越金1億3925万8千円、地方特例交付金1518万4千円、新型インフルエンザワクチン接種事業負担金449万7千円の増額、農業振興費補助金3932万7千円の減額等、歳出ではごみ処理施設交付税公債費知名町負担金7047万7千円、財政調整基金積立金3000万円、町道与名原平線改良舗装事業費1941万円、インフルエンザ予防接種業務委託料968万5千円、さとうきび安定生産確立対策事業国庫補助金2978万5千

円、環境と調和した農業推進事業費国庫補助金1000万円の減額等の予算措置で、歳入円の減額等の予算措置で、歳入歳出予算の総額にそれぞれ

1億歳出予算の総額にそれぞれ1億3230万6千円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ60億万2643万8千円とする。

◎平成22年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入では、国民健康保険税197万5千円、療養給付費交付金18万6千円及び繰越金421万8千円の増額、歳出では、総務費79万円、保険給付費14万7千円及び諸支出金655万8千円の増額、後期高齢者支援金

等1251万円及び前期高齢者納付金等6万3千円減額等の予算措置で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ75万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ10億786万8千円とする。

◎平成22年度和泊町老人保健特別会計補正予算(第1号)

歳出の諸支出金1万4千円の増額、医療諸費1万4千円の減額の予算措置で、歳入歳出予算の総額は補正前と同額の101万円。

◎平成22年度和泊町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入では、保険料64万9千円及び繰越金1965万6千円の増額、歳出では、保険給付費832万円及び諸支出金1198万5千円増額し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ

2030万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億8802万7千円とする。

◎平成22年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では、諸収入34万1千円及び繰越金82万1千円の増額、後期高齢者医療保険料207万4千円の減額、歳出では、保健事業費27万円及び諸支出金8万円の増額、後期高齢者医療広域連合納付金175万6千円の減額等で、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ91万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7046万5千円とする。

◎平成22年度和泊町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

備品購入等の増額により、歳入歳出予算の総額に歳入

歳出それぞれ125万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億2572万1千円とする。

◎平成22年度和泊町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

町単独事業費等の増額により歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ127万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億5429万3千円とする。

◎平成22年度和泊町水道事業会計補正予算(第1号)

後蘭浄水場硬度低減化処理施設の副産物の乾燥・貯蔵施設建設に伴う増額。

決算認定

◎平成21年度一般会計及び各特別会計・水道事業会計の決算は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果

10会計はいずれも認定するものと決定した。詳細は次面に記載)

条例

◎和泊町定住促進住宅用地の貸付け及び譲渡に関する条例の制定

町有地を活用し、移住・定住の促進を図るためのもの。

◎和泊町有線テレビ施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定

和泊町新有線テレビネットワーク施設が整備され、平成7年に設置された和泊町有線テレビ施設が廃止されたことによるもの。

◎和泊町立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定

和泊保育所のより効率的な運営を図るため、財産(建物)を社会福祉協議会に無償譲渡することとし、これにより町立保育所としての併用を廃止するもの。

◎和泊町介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

新たに介護予防拠点施設を設置することに伴い、所要の改正を行うもの。

◎和泊町地域産業振興開発基金条例等を廃止する条例の制定

和泊町地域産業振興開発基金条例等は初期の目的をほぼ達成しており、また、基金残高も少額であり基金事務の簡素化の観点から廃止するもの。

人事案件

◎和泊町教育委員会委員の任命

任期満了に伴う再任同意
逆瀬川 勝久氏 68歳
(上手々知名)

その他

◎財政健全化判断比率について

◎資金不足比率について

◎和泊町立保育所(建物)の譲渡について

採択された陳情等

◎教育予算の拡充を求める意見書の採択について

◎県道「下平川・内城線」歩道併設要望書について

※採決反対議員

豊枝 敏勝 宮田 裕雄
(2名)
採決賛成議員

盛 泰夫 平 勝美
泉 秀樹 永野 利則
谷山健一郎 赤山 俊彦
伊集院徳二 山下 幸秀
福山 峯之 和 正巳
(10名)

前田 力議員は議長のため採決に加わっていません。

意見書

◎30人以下学級実現、教育賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に関する意見書

◎県道「下平川・内城線」歩道併設に関する意見書

◎臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書

◎県道「瀬名・和泊線」歩道整備に関する意見書



平成21年度 全ての会計決算を認定

平成21年度の一般会計及び特別会計・水道事業会計は決算審査特別委員会に付託審査され、最終本会議で採決の結果全ての決算が認定されました。

一般会計

【歳入】69億7842万5千円

(対前年度比6411万円減)

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | 対前年度比 |
|----------|-----------|-----------|
| 町税 | 573,115 | △ 3,953 |
| 地方譲与税 | 91,973 | △ 3,892 |
| 地方交付税 | 3,108,290 | 7,040 |
| 分担金及び負担金 | 40,670 | △ 2,681 |
| 使用料及び手数料 | 91,221 | 24,456 |
| 国庫支出金 | 759,552 | △ 55,983 |
| 県支出金 | 322,771 | 42,599 |
| 財産収入 | 30,399 | 671 |
| 繰入金 | 428,423 | △ 171,997 |
| 繰越金 | 441,789 | 281,777 |
| 町債 | 884,100 | △ 208,440 |
| その他 | 206,122 | 26,253 |
| 合計 | 6,978,425 | △ 64,110 |

【歳出】67億5511万5千円

(対前年度比1億5436万8千円増)

(単位：千円)

| 区分 | 決算額 | 対前年度比 |
|--------|-----------|-----------|
| 議会費 | 90,048 | △ 38 |
| 総務費 | 1,130,914 | △ 282,007 |
| 民生費 | 894,582 | 34,276 |
| 衛生費 | 544,274 | 29,891 |
| 農林水産業費 | 729,292 | 52,373 |
| 商工費 | 41,090 | 9,682 |
| 土木費 | 1,002,830 | 124,465 |
| 消防費 | 139,940 | △ 22,467 |
| 教育費 | 512,580 | 119,775 |
| 災害復旧費 | 35 | △ 1,757 |
| 公債費 | 1,085,950 | △ 80,824 |
| 諸支出金 | 583,580 | 170,999 |
| 合計 | 6,755,115 | 154,368 |

特別会計

【歳入】25億1066万7千円

(対前年度比1億1958万1千円減) (単位：千円)

| 区分 | 決算額 | 対前年度比 |
|-------------|-----------|-----------|
| 国民健康保険 | 1,082,267 | 2,297 |
| 老人保健 | 17,396 | △ 77,562 |
| 介護保険 | 761,749 | 41,429 |
| 奨学資金 | 17,828 | 6,245 |
| 下水道事業 | 257,974 | △ 122,061 |
| 農業集落排水事 | 274,193 | 31,177 |
| 伊延港・頭川地造成事業 | 30,259 | △ 4,231 |
| 後期高齢者医療 | 69,001 | 3,125 |
| 合計 | 2,510,667 | △ 119,581 |

【歳出】24億2216万円

(対前年度比1億5603万2千円減) (単位：千円)

| 区分 | 決算額 | 対前年度比 |
|-------------|-----------|-----------|
| 国民健康保険 | 1,078,048 | 1,104 |
| 老人保健 | 16,390 | △ 70,354 |
| 介護保険 | 742,092 | 24,231 |
| 奨学資金 | 2,461 | △ 391 |
| 下水道事業 | 257,949 | △ 121,993 |
| 農業集落排水事 | 250,660 | 7,657 |
| 伊延港・頭川地造成事業 | 6,381 | △ 55 |
| 後期高齢者医療 | 68,179 | 3,769 |
| 合計 | 2,422,160 | △ 156,032 |

水道事業会計

(単位：千円)

| 区分 | 総収益 | 総費用 | 純利益 |
|--------|---------|---------|-------|
| 水道事業会計 | 198,263 | 188,465 | 9,798 |

監 査 報 告

和泊町代表監査委員 上原 清

【各会計決算審査意見要約】

単年度収支は赤字であったが、実質単年度収支は黒字になった。小泉改革の負の側面を克服して出す体制は出来たと言える。ただ、それがバラマキの方向に向わないよう成長の道筋を明示していく必要がある。交付税等の歳入増が前年より続いてきた点もあるが、歳出減の努力の結果と言える。その主な要因は人件費、投資的経費の抑制によるものと思われる。投資的経費は普通建設事業費の補助事業費の減が大きい。経常収支比率は依然として90%台にあり、財政力指数も悪化している。町独自の判断で自立した自治運営がなされるよう、強力な指導性を発揮されたい。

【水道会計決算審査意見要約】

7次計画や昨年策定した水道ビジョンの、長期的計画に基づいて業務履行がなされており、水道経営における和泊町の伝統が受け継がれている。収益は改善したが、それは料金値上げによるもので、需要そのものは減少傾向にある。硬度低減化工事を島外からの飲料水購入減に結びつける努力が必要になる。地理的に不利な条件をプラスに変え、より一層の経営改善に努められたい。

【財政健全化審査意見書】

収支比率は単体、連結共に黒字になり、イエローカード（ α 値）のおそれはない。連結実質赤字比率は Δ 10.28%で、実質赤字比率は下水道や国保へ基準外繰出を行っても Δ 5.87%になった。夕張問題等、全国的に騒がれている財務規律の問題は本町には該当しない。しかしながら、実質公債比率は15.5%、将来負担比率は147.2%である。実質公債比率は、前年度より改善したとはいえ、地方財政法の制限比率18%の目前にある。将来負担比率も150%になると事前チェックがある。国保会計や下水道会計等、改善すべき分野は多い。各課行われている健康づくり事業も、それぞれの実証効果を捉える必要がある。下水道会計の高資本費対策は国の支援等もあり、当面は問題ないと思われる。処理費については、営業収入でカバーするのが全国的水準であり、資本費を含めて7割を目標とすべきと言われている。本町では、処理費の6割が営業収入で賄われている。財務規定の法適用を行い、各処理場の収支が明らかになれば、問題解決の方向も見えてくる。東部地区等は、収支良好であろう。白百合土地改良区への出資は将来負担比率に直接には算入されていないが、不良債権化した場合は悪化の原因になるだろう。各団体が厳しく、たくましく育つよう全町一丸となって努力されたい。

財政用語と参考資料

【健全化判断比率とは？】

①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つの指標で、それぞれの比率に応じて「健全」「早期健全化」「財政再生」の3段階に区分されます。この比率のうち1つでも早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て定める必要があります。

【実質赤字比率とは？】

福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計等の赤字額を町税等の財源の規模と比較して指標化し財政運営の深刻度を示します。

【連結赤字比率とは？】

すべての会計の赤字と黒字を合算して、その団体としての全体の資金の不足の程度を把握するため、町税等の財源の規模と比較して指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示します。

【実質公債費比率とは？】

借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示します。

【将来負担比率とは？】

地方公共団体の一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。

【経常収支比率とは？】

支出するもののうち、人件費や公債費など経常的な支出に、町税などの経常的収入がどの程度充当されているかにより、財政構造の弾力性を判断する指標。

【財政力指数とは？】

全国の地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指標。

【平成21年度和泊町財政指標】

(単位：%)

| 健全化判断比率 | 平成22年度 (平成21年度決算) | 早期健全化基準 |
|----------|----------------------|---------|
| 実質赤字比率 | — | 15.0 |
| 連結実質赤字比率 | — | 20.0 |
| 実質公債費比率 | 15.5 | 25.0 |
| 将来負担比率 | 147.2 | 350.0 |

【平成21年度郡内財政状況比較表】

(単位：%)

| 実質公債費比率 | | | 将来負担比率 | | |
|---------|------------|-------------|--------|------------|--------------|
| 降順 | 市町村名 | 実質公債費比率 | 降順 | 市町村名 | 将来負担比率 |
| 1 | 喜界町 | 12.0 | 1 | 龍郷町 | 73.8 |
| 2 | 龍郷町 | 13.7 | 2 | 喜界町 | 86.7 |
| 3 | 伊仙町 | 14.7 | 3 | 大和村 | 94.7 |
| 4 | 与論町 | 15.0 | 4 | 宇検村 | 95.1 |
| 5 | 和泊町 | 15.5 | 5 | 与論町 | 108.6 |
| 6 | 奄美市 | 15.7 | 6 | 奄美市 | 119.2 |
| 7 | 天城町 | 16.5 | 7 | 徳之島町 | 125.3 |
| 8 | 徳之島町 | 17.2 | 8 | 天城町 | 131.9 |
| 9 | 瀬戸内町 | 18.4 | 9 | 瀬戸内町 | 133.6 |
| 10 | 知名町 | 18.6 | 10 | 和泊町 | 147.2 |
| 11 | 大和村 | 18.7 | 11 | 知名町 | 159.1 |
| 12 | 宇検村 | 19.2 | 12 | 伊仙町 | 170.7 |
| 早期健全化 | | 25%以上 | 早期健全化 | | 350%以上 |
| 財政再生 | | 35%以上 | 財政再生 | | — |

(単位：%)

| 経常収支比率 | | | 財政力指数 | | |
|---------|------------|-------------|---------|------------|-------------|
| 降順 | 市町村 | 経常収支比率 | 降順 | 市町村名 | 財政力指数 |
| 1 | 徳之島町 | 88.2 | 1 | 奄美市 | 0.27 |
| 2 | 龍郷町 | 88.5 | 2 | 徳之島町 | 0.23 |
| 3 | 伊仙町 | 88.5 | 3 | 龍郷町 | 0.18 |
| 4 | 知名町 | 88.8 | 4 | 喜界町 | 0.18 |
| 5 | 喜界町 | 89.2 | 5 | 和泊町 | 0.17 |
| 6 | 大和村 | 90.5 | 6 | 天城町 | 0.17 |
| 7 | 宇検村 | 91.9 | 7 | 知名町 | 0.17 |
| 8 | 和泊町 | 92.3 | 8 | 瀬戸内町 | 0.16 |
| 9 | 瀬戸内町 | 92.7 | 9 | 与論町 | 0.15 |
| 10 | 奄美市 | 94.3 | 10 | 伊仙町 | 0.13 |
| 11 | 天城町 | 94.6 | 11 | 宇検村 | 0.11 |
| 12 | 与論町 | 98.9 | 12 | 大和村 | 0.08 |
| 健全エリア数値 | | 75%未満 | 健全エリア数値 | | 1に近い程良い |

先進事例に学ぶ!

☆常任委員会所管事務調査報告☆

総務文教委員会

6月29日から7月2日まで、総務文教常任委員会6名、議会事務局1名、教育委員会2名、保健福祉課1名、社協1名の計11名で沖縄県宮古島市の所管事務調査を行った。宮古島市は、平成17年10月1日に1市3町1村の合併で誕生し、5年目を迎えた新しい市である。人口約5万6千人、山岳部は少なく、高い所で海拔113mと、隆起サンゴ礁からなる島々は平坦で大きな河川もなく、生活用水も地下水に頼っており、農業用水の安定的確保については、我が国初めての大型地下ダムを建設し、さとうきび中心の水利農業を推進する等、本町が目指す農業形態と似通っている。

本町教育委員会より、宮古島市教育委員会へ提出済み質問事項の説明を受けた後、自由質疑応答形式で下記の問題点について調査した。

(1) 離島における学力向上について

学力向上に対する取り組みはさほど大差ないが、学校予算については実に豊かであった。例えば電子黒板は、市内にある小学校156学級、中学校76学級全てに整備されている。県学力到達度調査においては、県平均より宮古島は上位にある。現在の取り組みとしては、「子どもと子どもが語り合う」機会を設けると共に、学習意欲の向上については、習得したものを活用する事を心掛け、授業に関連した宿題を出している。又、学力向上を目指し、教育事務所は指導主事8名体制で臨んでいる。

(2) 義務教育後の特別支援学級体制について

21年度特別支援学級からの卒業生5名の進路は、島内にある県立特別支援学校高等部へ2名進学、島外施設へ2名入所、1名は就職しており、生徒や保護者の精神的、経済的な負担軽減がなされていた。

(3) 社会体育施設とその規模について

国体のバレー等誘致を目的に、総合体育館が昭和58年に建築され、今年の高校総体の男子バレーの会場にもなった。「スポーツアイランド宮古島」と称し、体育施設の充実を図り、中でも、市民球場、多目的屋内運動場はオリックスのキャンプ地として利用されており、その相乗効果として、年間、約35万の観光客誘致等、経済波及に貢献している。

(4) 文化施設整備とその規模について

宮古島文化ホールの21年度稼働率は43%であり、維持管理費に年間、約1億3千万と高額な費用を必要とされている。

(5) 宮古島市における産科医療について

宮古島市には県立病院があり、産科医の確保についてはそれほど深刻ではないが、近年の産科医不足から、定数確保対策が必要となっている他、県立病院内に助産師外来の設置を検討している。

(6) その他

- ①周産期における救急搬送における助成制度はない。
- ②異常分娩対策については、妊婦検診の有効活用を推進している。
- ③長期的展望による医師の養成については、医学部学生を対象とした奨学金制度により、研修終了時に県指定の僻地離島勤務が命ぜられる。



宮古市教委の説明



特別支援教育に関する説明



福祉作業所

経済建設委員会

期 日 10月22日
調査地 沖縄県伊江村
事 項 ①伊江村が取組むバイオマス事業について
 ②伊江村が取組む民泊事業について
 ③急患搬送対策について

①伊江村ではバイオマスアイランド構想を策定しているが、この構想は高バイオマス量さとうきび栽培とそれを原料とする砂糖及びエタノール製造を中心に、畜産や葉タバコ栽培など伊江村の主要産業である農業と関連させながら、バイオマス資源が島内で有機的に循環し、持続的に発展可能な地域モデルを実現させようというものである。高バイオマス量さとうきびとは、従来種より一株当りの茎数が極めて多く、かつ、株の再生力が旺盛で、複数年の連続株出し栽培では単位面積当りのバイオマス生産量が従来種の2倍以上となる。そのため、単位面積当りの蔗糖量が従来種より多くなり、又、燃烧エネルギー源として利用可能なバガスの生産量も、従来種の3倍以上と大きく増加する。さらには、乾燥や荒地、台風の影響など食料作物が栽培しにくい不良環境に比較的強いとのことであった。

又、「ハイビスカス」ブランド創出事業を取り入れており、その事業で建設されたビニールハウスの展示棟には、約1,000種のハイビスカスが植栽されており、様々な色の花が咲き乱れていた。この花は年間を通じ鑑賞できるとのことである。

②伊江村では民泊事業が大きな島興し事業となっている。第一次産業を絡めた観光産業の育成は、当初、旅館組合側からの反発もあり、受入れ態勢も整っていなかった為、試行錯誤の段階から、今では平成21年度実績で全国から157校、延べ児童生徒数26,357名の入村となり、その経済効果は村中に波及し、登録民家数も160軒と一大産業に発展している。農業を取巻く環境や公共事業の減少を見据えた村おこし事業の成功例であった。

③急患輸送対策として、北部地区医師会による救急ヘリ「NPO法人MESH（メッシュ）サポート」の運用を開始している。MESHサポートとは、国・県の補助事業として行っている公的ドクターヘリを補完し、沖縄県北部離島を中心とした過疎地域の医療格差を解消すること、そして、将来的には2機目のドクターヘリを導入をサポートしているとのことである。

期 日 10月22日
勉強会 (株)沖縄物産企業連合 代表取締役 宮城弘岩先生
事 項 市場経済と物流について

助 言 ①日本の陸上輸送はコストが高すぎるので、海上輸送を考えてはどうか。

②これからは、インターネットを活用した販売が主流になってくるので、農家自身がインターネットを活用して個人で販売する方法も考えてみてはどうか。③これからの農業は、高付加価値のある農産物に絞り、コンビニ等で受け取るシステムを考えてみたらどうか。

期 日 10月23日
調査地 浦添総合病院 棚田病院長表敬訪問

浦添総合病院は民間病院であるが、国のドクターヘリ事業も行っており、本町もその運航範囲にはいり、又、度々救急患者が搬送されていることから、棚田病院長を表敬訪問した。ドクターヘリ運航に関する患者の費用負担については、鹿児島県が沖縄県に1件につき45万5千円負担しているとのことで、ヘリでの搬送そのものは無料であるが、現場や機内で行った治療については、医療保険の範囲内で医療費を負担していただくことになっている。



エタノール製造施設



伊江村農林水産課の事業説明



宮城弘岩先生との勉強会

新常任委員会構成

平成22年9月14日第3回定例会において、各常任委員会の選任と議会運営委員会の選任があり、下記のとおり、それぞれ選任されました。

総務文教常任委員会（定数7人）

| | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| ①平 勝美 | ②山下 幸秀 | ③盛 泰夫 | ④豊枝 敏勝 |
| ⑤宮田 裕雄 | ⑥和 正巳 | | |

委員長 盛 泰夫
副委員長 平 勝美

（所管事務）

- ・議会に関する事項。
- ・総務課・税務課・収納対策課・企画課・町民支援課・保健福祉課・教育委員会の所管に関する事項。
- ・他の常任委員会の所管に属さない事項。
- ・その他、議会において特に指定した事項。

経済建設常任委員会（定数7人）

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ①泉 秀樹 | ②永野 利則 | ③谷山健一郎 | ④赤山 俊彦 |
| ⑤伊集院徳二 | ⑥前田 力 | ⑦福山 峯之 | |

委員長 伊集院徳二
副委員長 赤山 俊彦

（所管事務）

- ・経済課・農業委員会・土木課・耕地課・生活環境課の所管に関する事項。
- ・その他、議会において特に指定した事項。

議会運営委員会（定数6名）

| | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| ①泉 秀樹 | ②伊集院徳二 | ③盛 泰夫 | ④豊枝 敏勝 |
| ⑤和 正巳 | ⑥福山 峯之 | | |

委員長 福山 峯之
副委員長 盛 泰夫

（所管事務）

- ・議長の諮問を受けて、定例議会や臨時議会の運営のあり方（会期・会期日程・各議案・陳情の取扱い等を調査する。
- ・議会の会議規則・委員会における条例等について調査及び審査する。

議会報編集委員（定数4名）

| | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| ①泉 秀樹 | ②平 勝美 | ③山下 幸秀 | ④永野 利則 |
|-------|-------|--------|--------|

委員長 永野 利則
副委員長 平 勝美










生の議会を体験 — 子ども議会 —

平成22年8月4日（水） 午前9時開会

第14回子ども議会が、8月4日（水）町議会議事堂で行われました。

関口幸一君（和泊中学校3年）を議長に、和泊中学校4名、城ヶ丘中学校5名の議員が一般質問を行いました。傍聴席で、両校の先生方や生徒約33人が熱い視線を送る中、環境対策や教育福祉問題、産業の振興等中学生の目線で現状を訴え、解決策を問いました。次代を担う子ども議員の質問に、担当課長も本会議同様真剣に対応していました。

【質問議員とその概要】

| 氏名 | 学校名 | 質問の概要 |
|---|-------|---|
|  川村 浩平 | 城中3年 | ◎沖永良部は農業の島でありながら、農業について学ぶ学科がない為、島の外の学校に進学している。将来の担い手である子ども達が安心して勉強できるよう、沖永良部高校に農業科を設置できないか。 |
|  吉野 雄大 | 和の中3年 | ◎和泊町では、地域の方々とのふれあいの場が少ないのではないかと。いろいろなイベントを企画して、幅広い年代の方々で交流する機会をつくることできないか。 |
|  前田 咲紀 | 城中3年 | ◎沖永良部の大切な文化財を保存する為、文化財をめぐるツアーを企画し観光客を誘致できないか。また、沖永良部の歴史をホームページで紹介したり、文化財を記した看板の設置等ができないか。 |
|  東 優志 | 和の中3年 | ◎沖永良部にはきれいな海が数多くあり、島をアピールできる観光資源だと思うが、施設や、管理者を確保し遊泳場所を増やす取り組みができないか。 |
|  三島 愛美 | 城中3年 | ◎お年寄りの住みやすい環境づくりの為に、①お年寄りが多く利用する場所に様式トイレと手すりを設置できないか。②ゲートボール場に日陰になるものを設置できないか。③バス停等、休憩場に椅子を多く設置できないか。 |
|  荒川 珠梨 | 和の中3年 | ◎和泊町は花々が咲くきれいな町だが、道路脇にはゴミが散乱している。町内の清掃活動を各小中学校のボランティア活動として取組めないか。又、町としてどのような支援ができるか。 |
|  大山五十和 | 城中3年 | ◎花がもっとあふれる島にする為に、各字ごとの公民館や花壇に四季折々の花を植えたり、一家一鉢運動や、また、休耕地に観光用の花を植栽できないか。 |
|  川添 恭平 | 和の中3年 | ◎通学路の中には、街灯がなかったり、歩道が狭く危険な箇所があるため、安心・安全な通学路を作ってもらえないか。 |
|  村山 敬 | 城中3年 | ◎海岸には漂流物等のゴミが散乱している。また、文化財周辺のゴミも多い。環境問題について町民に広く関心を持ってもらう為、町のエコバッグ、エコグッズ等を作ったらどうか。環境保護に積極的に取り組んでほしい。 |

「子ども議会を体験して」 第14代和泊町子ども議会議長 関口幸一

今回、僕が議長を務めることになり、「僕にできるかなあ」と心配になりました。リハーサルで初めて議長席に座った時は正直、「本当に大丈夫かな」という不安でいっぱいになり、緊張のせいか早口になり上手くしゃべれませんでした。今日、議長を務めさせていただき、思ったとおり緊張しましたが、リハーサルをさせてもらったことと、皆さんの協力のおかげで少し落ち着くことができました。僕たちは社会の時間などに、和泊町や自分たちの学校について改めて見つけ、意見を出し合ったりしました。今までは当たり前と思っていたことも、みんな意見を出し合って、よりよい町づくりの為に何ができるか考え、それを実践していきたいと思います。そして、大人も子どもも、すべての人が暮らしやすい町になればいいと思います。今回はこのような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



議長 前田 力
 議会報編集委員 泉 秀樹
 委員長 永野 敏則
 副委員長 山下 勝美
 委員 平 敏則
 委員 泉 幸秀
 同 秀樹

和泊町議会は3月・6月・9月・12月に定例議会が開会されます。9月議会では前年度の決算審査があります。一つ一つの事業にどれだけの予算を使ったか、無駄はなかったか、成果はどうであったか、等を審査します。国においては、昨年発足した民主党政権が、各事業、行政法人、特別会計の仕分け作業を行ってきました。その結果、地方自治体にも大きな影響を及ぼしています。国も地方も大きな借金を抱えています。私達は、限られた財源の中、無駄を省き、大きな成果をあげる為、町民の声を聞きながら、執行部とは、一歩離れて二歩離れずの関係を保ちつつ、議会活動を行っていきたいと思います。

(文責 泉 秀樹)

編集後記